

キー入力・マウス操作視覚化ツール
Orakuin
操作マニュアル - 基本編 -

東九州ソフトウェア開発

連絡先

ホームページ URL : <http://orakuin.eksd.jp>
電子メールアドレス : orakuin@mail.eksd.jp

目次

はじめに	3
本書について	3
Orakuin を利用するための Windows のログインユーザ	3
本ソフトウェア製品で使用されているソフトウェアのライセンス情報	3
使い方	4
Orakuin の起動と自動的な設定画面の呼び出し	4
設定の入力と保存	5
Orakuin の終了方法	13
設定画面を開くには	13
マウスのボタンの判別	14
タスクトレイメニューからキー入力とマウス操作の視覚化をオン・オフする	15
キーボード・マウスショートカットの利用	16

はじめに

本書について

本書は、Orakuinの利用方法について説明しています。なお、Orakuinのパーソナルコンピュータへのインストールはすでに完了していることが前提となっていますので、Orakuinのインストールが完了していない場合は、別冊の、

- ・『Orakuin インストールガイド』

を参照してOrakuinのインストールを行ってください。

Orakuin を利用するための Windows のログインユーザ

Orakuinのインストールでは管理権限が割り当てられたWindowsユーザでログインして作業を行う必要がありましたが、インストール後は、管理者権限が割り当てられていないWindowsユーザでもOrakuinを利用して作業を行うことができます。

本ソフトウェア製品で使用されているソフトウェアのライセンス情報

本ソフトウェア製品は、複数のソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東九州ソフトウェア開発または第三者の著作権が存在します。

- libjpeg -

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- OpenSSL -

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

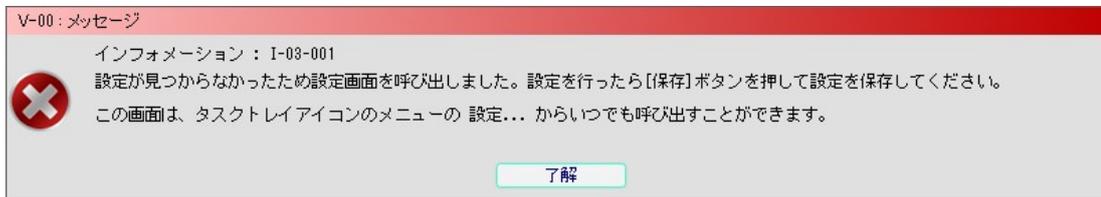
This product includes cryptographic software written by Eric Young. (eay@cryptsoft.com)

使い方

Orakuin の使い方は以下の通りです。

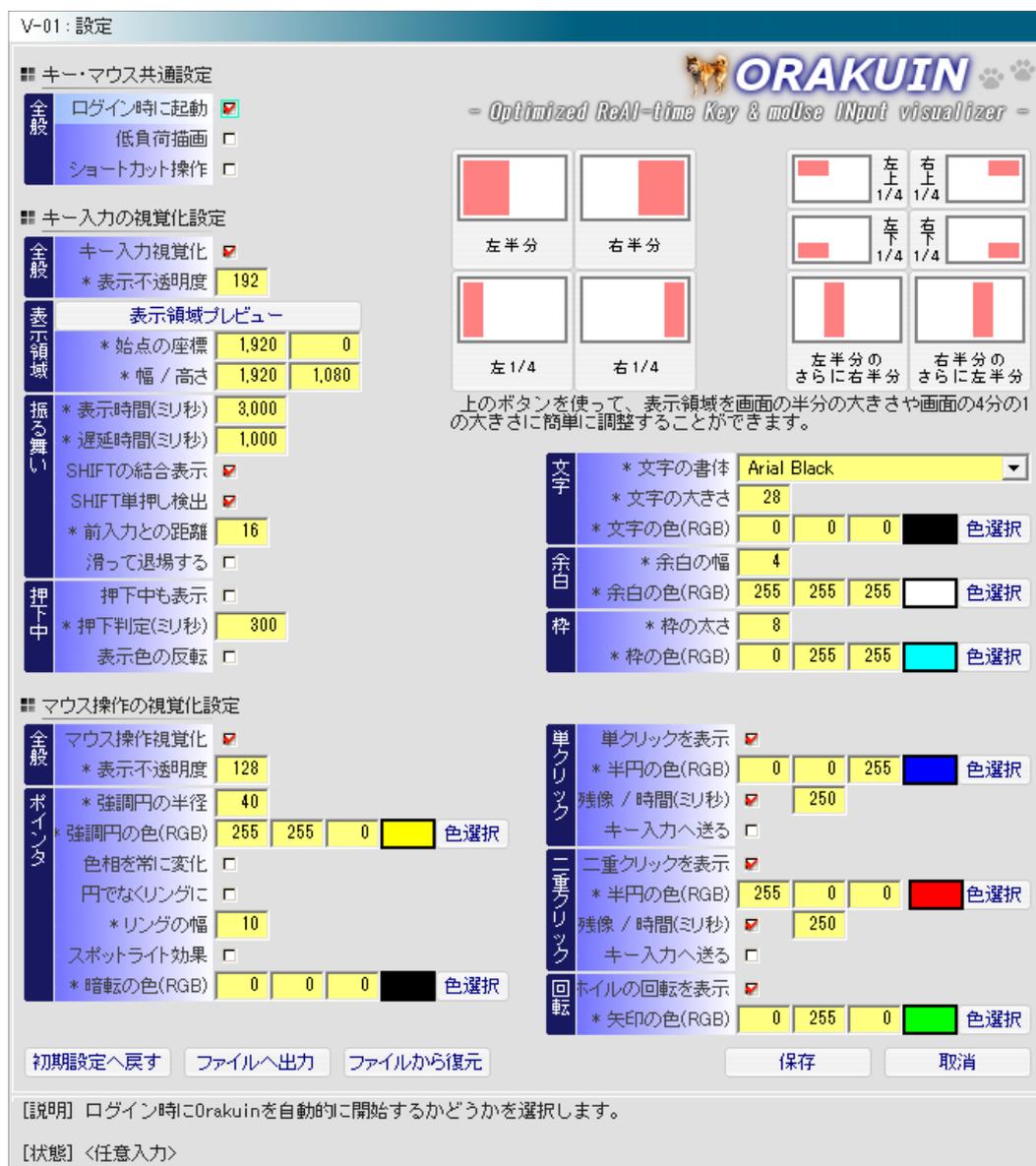
Orakuin の起動と自動的な設定画面の呼び出し

まずは設定を行います。デスクトップの Orakuin アイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから Orakuin を起動してください。



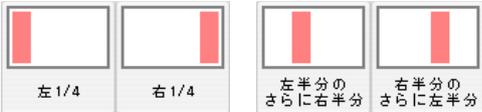
初回起動時には、上図のメッセージ(設定が見つからなかったため...〈省略〉... できます。)が表示されますので、[了解] ボタンを押して設定画面へ進みます。

以下の設定画面が表示されます。

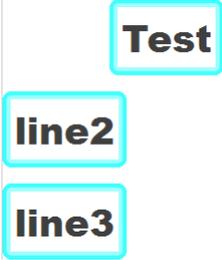


設定の入力と保存

設定画面の各項目を入力します。以下を参考に入力を行ってください。

(1) ログイン時に起動	<p>ログイン時にOrakuinを自動的に起動するかどうかを選択します。オン(☑)にすると次回のログインから自動的にOrakuinが起動するようになります。</p>
(2) 低負荷描画	<p>低負荷描画を行うかどうかを選択します。オン(☑)にするとボカシや透明化フェードアウトなどの負荷のかかる視覚効果は実行されなくなります。</p>
(3) ショートカット操作	<p>キーボード・マウスショートカットを有効にするかどうかを選択します。</p> <p>※ 詳細は本書の『キーボード・マウスショートカットの利用』の章を参照してください</p>
(4) キー入力視覚化	<p>キー入力を視覚化するかどうかを選択します。オン(☑)にするとキー入力の内容が画面に表示されるようになります。</p>
(5) 表示不透明度	<p>キー入力を視覚化する際の表示の不透明度を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な透明になり、255 で完全な不透明になります。</p>
(6) (7) 始点の座標 (8) (9) 幅 / 高さ	<p>キー入力の内容を表示する領域の始点座標と大きさをピクセルで指定します。入力項目の上にあるボタンの、</p> <div data-bbox="815 927 1217 969" style="text-align: center;">  </div> <p>を押すと、表示領域が画面上に 1 秒間だけプレビュー表示されます。</p> <p>なお、右側にあるボタンの、</p> <div data-bbox="775 1171 1257 1283" style="text-align: center;">  </div> <p>を押すことで、画面の左半分や右半分、画面の左上・右上・左下・右下の4分の1の大きさに調整することができます。また、同様に、さらにその下にあるボタンの、</p> <div data-bbox="775 1451 1257 1563" style="text-align: center;">  </div> <p>を押すことで画面の左4分の1・右4分の1・左半分のさらに右半分・右半分のさらに左半分の大きさに調整することができます。</p>
(10) 表示時間(ミリ秒)	<p>キー入力の内容を表示する時間をミリ秒(1000分の1秒)で指定します。この時間を経過すると表示は消えます。0(ゼロ)が指定された場合は、後続のキー入力によって画面から押し出されるまで表示され続けます。</p>

(11) 遅延時間(ミリ秒)	<p>キー入力をまとめて表示する際のしきい値となる遅延時間をミリ秒(1000分の1秒)で指定します。</p> <p>この時間を超える未入力が発見されると、次のキー入力は次の入力群に回されます。例えば、1000 が指定された場合で、</p> <p style="padding-left: 2em;">T を入力 <0.8 秒の未入力時間> e を入力 s を入力 <1.2 秒の未入力時間> t を入力</p> <p>という操作が行われた場合には、表示される内容は、</p> <p style="padding-left: 2em;">T es t</p> <p>の 2 群となります。なお、遅延時間に 500 を指定した場合は、</p> <p style="padding-left: 2em;">T es t</p> <p>の 3 群になります。</p> <p style="color: red; padding-left: 2em;">※ CTRL キーや ALT キー・Windows キーと組み合わせたの キー入力は、まとめ表示の対象とはならず、必ず単独で 表示されます</p>
(12) SHIFT の結合表示	<p>SHIFT キーを押しながら他のキーが押された場合に、SHIFT キーを修飾キーとして表示するか、他のキーと結合して表示するかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にすると他のキーと結合されて表示されません。例えば、</p> <p style="padding-left: 2em;">SHIFT + 5</p> <p>が入力された場合には、この項目がオフ(<input type="checkbox"/>)であれば、</p> <p style="padding-left: 2em;"><SHIFT + 5></p> <p>と表示され、オン(<input checked="" type="checkbox"/>)であれば、</p> <p style="padding-left: 2em;">%</p> <p>と表示されます。</p>
(13) SHIFT 単押し検出	<p>SHIFT キーを押す、他のキーを押さないまま SHIFT キーを離す動作を検出するかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にすると SHIFT キーを押しただけの入力も検出します。</p>
(14) 前入力との距離	<p>キー入力は、1 入力ごとに表示されるわけではなく複数の入力が 1 つの入力群にまとめられて表示されます。その際の入力群と入力群との表示の間隔をピクセルで指定します。</p>

<p>(15) 滑って退場する</p>	<p>(10)の『表示時間(ミリ秒)』が経過した入力群をスライドさせて消去するかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にすると右側にスライドして表示領域外に消えます(下図)。</p>  <p>なお、この項目がオフ(<input type="checkbox"/>)の場合は、入力群の表示は透明化フェードアウトまたは、即座に消えます。</p> <p>(2)の『低負荷描画』がオン(<input checked="" type="checkbox"/>)であれば即座に消えます。(2)の『低負荷描画』がオフ(<input type="checkbox"/>)であれば透明化フェードアウトしながら消えます(下図)。</p> 
<p>(16) 押下中も表示</p>	<p>押下中(押しっぱなし)の状態も表示するかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にすると押下中のキーの情報がキー入力の表示領域の下部に表示されます。</p>
<p>(17) 押下判定(ミリ秒)</p>	<p>キーが押下中とみなされるまでの時間をミリ秒(1000分の1秒)で指定します。</p> <p>この時間が経過するより前にキーを離した場合は押下中とはみなされません。</p>
<p>(18) 表示色の反転</p>	<p>押下中の表示の色を反転するかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にすると色が反転します。なお、この項目がオフ(<input type="checkbox"/>)の場合はキーを離した際の表示と同じ色が使われます。</p> <p>※ キーを離した際の表示と区別しやすくするためのものです</p>
<p>(19) 文字の書体</p>	<p>キー入力を表示する文字の書体を選択します。</p>
<p>(20) 文字の大きさ</p>	<p>キー入力を表示する文字の大きさをピクセルで指定します。</p>

<p>(21) 文字の色 (R) (22) 文字の色 (G) (23) 文字の色 (B)</p>	<p>キー入力を表示する文字の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p>  <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p>  <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p>
<p>(24) 余白の幅</p>	<p>キー入力を表示する文字の周囲の余白の大きさをピクセルで指定します。</p>  <p>なお、上図では、白色 (○) が余白の部分です。</p>
<p>(25) 余白の色 (R) (26) 余白の色 (G) (27) 余白の色 (B)</p>	<p>キー入力を表示する文字の周囲の余白の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p>  <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p>  <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p> <p>※ 文字の背景色にもここで指定した色が使用されます</p>
<p>(28) 枠の太さ</p>	<p>キー入力を表示する文字を囲む枠の太さをピクセルで指定します。0 (ゼロ) が指定された場合は、枠は表示されません。</p>  <p>なお、上図では、水色 (●) が枠の部分です。</p>

<p>(29) 枠の色 (R) (30) 枠の色 (G) (31) 枠の色 (B)</p>	<p>キー入力を表示する文字を囲む枠の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p>  <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p>  <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p>
<p>(32) マウス操作視覚化</p>	<p>マウス操作を視覚化するかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にするとマウス操作の内容が画面に表示されるようになります。</p>
<p>(33) 表示不透明度</p>	<p>マウス操作を視覚化する際の表示の不透明度を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な透明になり、255 で完全な不透明になります。</p>
<p>(34) 強調円の半径</p>	<p>マウスポインタを強調するための強調円の半径をピクセルで指定します。0 (ゼロ) が指定された場合は、強調円は表示されません。</p>  <p>なお、上図の黄色(●)の円が強調円です。</p>
<p>(35) 強調円の色 (R) (36) 強調円の色 (G) (37) 強調円の色 (B)</p>	<p>マウスポインタを強調するための強調円の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p>  <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p>  <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p>
<p>(38) 色相を常に変化</p>	<p>マウスポインタの強調円の色相(色合い)を常に変化させるかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にすると色相が常時変化して強調円がさらに目立つようになります。</p>

(39) 円でなくリングに	マウスポインタの強調を円ではなくリングで描画します。オン(☑)にすると円の内部がくり抜かれてリング状になります。
(40) リングの幅	マウスポインタを強調するリングの幅をピクセルで指定します。
(41) スポットライト効果	<p>スポットライト効果を使用するかどうかを選択します。オン(☑)にすると画面全体が暗転して暗くなり、マウスポインタの周囲のみが明るくなります。</p>  <p>なお、上図がスポットライト効果です。</p>
(42) 暗転の色 (R) (43) 暗転の色 (G) (44) 暗転の色 (B)	<p>スポットライト効果を使用する際の暗転の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p>  <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p>  <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p> <p>※ 明るい色を指定するとスポットライトに見えなくなります</p>
(45) 単クリックを表示	<p>シングルクリックを表示するかどうかを選択します。オン(☑)にするとシングルクリックが可視化されて半円形で表示されます。</p>  <p>なお、上図の青色(●)の半円形がシングルクリックの表示です。</p>

<p>(46) 半円の色 (R) (47) 半円の色 (G) (48) 半円の色 (B)</p>	<p>シングルクリックの半円形の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p>  <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p>  <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p>
<p>(49) 残像</p>	<p>シングルクリックで表示される半円形の残像を残すかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にすると残像が一定時間画面に残ります。</p> <p>※半円形は時間の経過とともに薄くなりながら広がります</p>
<p>(50) 時間 (ミリ秒)</p>	<p>シングルクリックの半円形の残像が消えるまでの時間をミリ秒 (1000 分の 1 秒) で指定します。</p>
<p>(51) キー入力へ送る</p>	<p>シングルクリックをキー入力の表示に入れ込むかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にするとシングルクリックがキー入力の表示に加えられます。</p> <p>※(4)の『キー入力視覚化』もオン(<input checked="" type="checkbox"/>)にする必要があります</p>
<p>(52) 二重クリックを表示</p>	<p>ダブルクリックを表示するかどうかを選択します。オン(<input checked="" type="checkbox"/>)にするとダブルクリックが可視化されて半円形で表示されます。</p>  <p>なお、上図の赤色(●)の半円形がダブルクリックの表示です。</p>
<p>(53) 半円の色 (R) (54) 半円の色 (G) (55) 半円の色 (B)</p>	<p>ダブルクリックの半円形の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p>  <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p>  <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p>

(56) 残像	<p>ダブルクリックで表示される半円形の残像を残すかどうかを選択します。オン(☑)にすると残像が一定時間画面に残ります。</p> <p>※半円形は時間の経過とともに薄くなりながら広がります</p>
(57) 時間(ミリ秒)	<p>ダブルクリックの半円形の残像が消えるまでの時間をミリ秒(1000分の1秒)で指定します。</p>
(58) キー入力へ送る	<p>ダブルクリックをキー入力の表示に入れ込むかどうかを選択します。オン(☑)にするとダブルクリックがキー入力の表示に加えられます。</p> <p>※(4)の『キー入力視覚化』もオン(☑)にする必要があります</p>
(59) ホイルの回転を表示	<p>マウスのホイール(中ボタン)の回転を表示するかどうかを選択します。オン(☑)にするとホイールの回転が可視化されて矢印として表示されます。</p> <div data-bbox="906 683 1098 936" style="text-align: center;">  </div> <p>なお、上図の緑色(●)の矢印がホイールの回転の表示矢印です。</p>
(60) 矢印の色(R) (61) 矢印の色(G) (62) 矢印の色(B)	<p>マウスのホイール(中ボタン)の回転の表示矢印の色を指定します。赤・緑・青のそれぞれの成分を 0 から 255 の範囲で指定します。0 で完全な黒色になり、255 で最も明るい赤(または緑または青)になります。</p> <p>なお、入力項目の右にある、</p> <div data-bbox="975 1249 1050 1294" style="text-align: center;">  </div> <p>の画像は色のプレビューのための画像です。また、右側にあるボタンの、</p> <div data-bbox="962 1429 1058 1462" style="text-align: center;">  </div> <p>を押すことで、Windows の『色の編集』ダイアログ画面を呼び出して、色の選択や編集を行うことができます。</p>

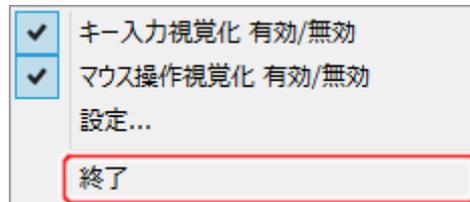
設定画面の各項目の入力が完了したら、[保存]ボタンを押してください。

Orakuinの終了方法

Orakuinが実行されている間は、画面下部のタスクバーにあるタスクトレイアイコンにOrakuinのアイコンが表示されます(下図)。



このアイコンを右クリックするとポップアップメニューが表示されます(下図)。

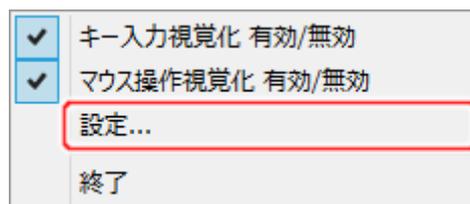


Orakuinを終了するには、表示されたポップアップメニューの『終了』を選択します。

設定画面を開くには

初回起動時には設定画面が自動的に呼び出されましたが、一度設定を保存すると、設定画面は自動では開かれなくなります。

設定画面を開くには、タスクトレイアイコンを右クリックし、表示されるポップアップメニューから『設定...』を選択します(下図)。



マウスのボタンの判別

Orakuinではマウスのボタンの、

- ・シングルクリック
- ・ダブルクリック
- ・ホイール(中ボタン)の回転

を視覚化することができます。

- シングルクリックとダブルクリックの判別 -

シングルクリックとダブルクリックで、それぞれ表示に別の色を指定することができます。そのため、シングルクリックなのか、ダブルクリックなのかは色で容易に判別することができます。

インストール直後の初期設定では、シングルクリックは青色(●)、ダブルクリックは赤色(●)に設定されています。



(シングルクリック)



(ダブルクリック)

- ホイール(中ボタン)の回転の上下の判別 -

ホイール(中ボタン)の回転が上方(奥へ)なのか、下方(手前へ)なのかは矢印の方向で判別することができます。

上方であれば上向きの矢印が、下方であれば下向きの矢印が描かれます。



(上方)



(下方)

- 左ボタン・右ボタン・中ボタンの判別 -

シングルクリックまたはダブルクリックされたボタンが、

- ・左ボタン
- ・右ボタン
- ・中ボタン

のどれであるかは、半円形の表示の位置で判別することができます。

左ボタンであればマウスポインタ強調円の左半分に、右ボタンであれば右半分に、中ボタンであれば上半分に半円形が描かれます。



(左ボタン)



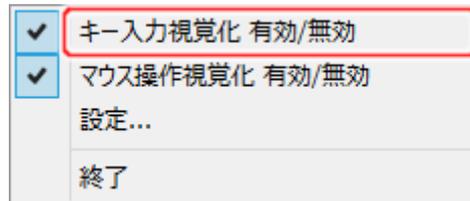
(右ボタン)



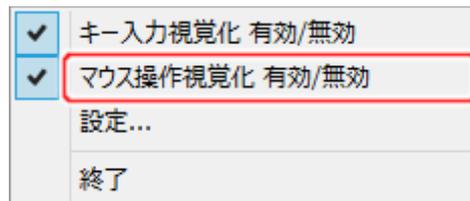
(中ボタン)

タスクトレイメニューからキー入力とマウス操作の視覚化をオン・オフする

タスクトレイアイコンを右クリックし、表示されるポップアップメニューから『キー入力視覚化 有効/無効』を選択することで、設定画面を開くことなくキー入力の視覚化の有効/無効を切り替えることができます(下図)。



同様に、『マウス操作視覚化 有効/無効』を選択することで、マウス操作の視覚化の有効/無効を切り替えることができます(下図)。



キーボード・マウスショートカットの利用

Orakuinには、いくつかのキーボード・マウスショートカットが用意されています。キーボード・マウスショートカットを活用することで、素早い操作が可能となります。

キーボード・マウスショートカットを有効にするためには、設定画面の『ショートカット操作』がオンになっている必要があります。

使用できるキーボード・マウスショートカットと効果は以下のとおりです。

CTRL + ALT + F1	 <p>キー入力視覚化の オン / オフ を交互に切り替えます。パスワードを入力する場合など、一時的にキー入力の可視化を無効にする場合に便利です。</p>
CTRL + ALT + マウス左ボタン押下	 <p>同上</p>
CTRL + ALT + F2	 <p>マウス操作視覚化の オン / オフ を交互に切り替えます。</p>
CTRL + ALT + マウス右ボタン押下	 <p>同上</p>
CTRL + ALT + F3	 <p>設定画面を呼び出します。タスクトレイアイコンからポップアップメニューを開かなくても設定画面を呼び出すことができます。</p>
CTRL + ALT + マウスホイール回転	 <p>マウス操作視覚化の強調円の大きさを変更します。マウスのホイールを上方向へ回すと強調円が大きく、下方向へ回すと小さくなります。</p>
CTRL + ALT + SHIFT + マウスホイール回転	 <p>マウス操作視覚化の表示不透明度を変更します。マウスのホイールを上方向へ回すと表示不透明度が大きく（濃く）、下方向へ回すと小さく（薄く）なります。</p>
CTRL + ALT + マウス中ボタン押下	 <p>スポットライト効果の オン / オフ を交互に切り替えます。</p>



重要

キーボード・マウスショートカットを有効にすると、各ソフトウェアに上記の入力が渡らなくなります。